

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	衣料品専門店 （経理）	単価の動き	・単価の高い商品を買う客が多くなっている。
		一般小売店〔青 果〕（店長）	それ以外	・梅やハウスみかん、マンゴー等により売上げが少し ずつ上向いている。
		百貨店（売場担 当）	単価の動き	・ここ数か月、購買単価、購買客単価が前年を上回っ ている。また、購買率も上昇しており、低迷していた 家庭用品が若干上向いてきている。しかし、紳士服は 依然として売上が伸び悩んでいる。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・広告の打ち出しに客が反応するようになっている。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・販売量が前年比2けた以上の伸びを示している。特 に衣料品関係が好調で、高額の家電製品や、食品にお いても生鮮や惣菜などの動きが良くなっている。
		スーパー（企画 担当）	単価の動き	・閉鎖店舗の新規オープンによるチラシ競争が激し かったにも関わらず、客単価が1ポイントほど上昇し ている。
		スーパー（経理 担当）	販売量の動き	・競合店が出店した地域を除き、概ね売上は堅調であ る。
		コンビニ（店 長）	単価の動き	・客単価はややアップしており、来客数も前年並に推 移している。
		衣料品専門店 （店員）	販売量の動き	・来客数が若干増えており、1人当り買上点数も増え る傾向にある。ただ、消費者は単価に非常にシビアに なっており、お買得の商品を多く買う傾向にあるた め、大きな効果はない。
		衣料品専門店 （総務担当）	来客数の動き	・平日の来客数が前年比5%増、売出し日は12%増と なっている。特に貴金属商品を買う客が増えている。
	家電量販店（企 画担当）	来客数の動き	・パソコンやテレビなどが堅調に動いている。	
	通信会社（総務 局長）	販売量の動き	・新規契約件数が引き続き伸びている。	
	競輪場（職員）	単価の動き	・購入単価、入場者ともに増えてきている。	
	変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・郊外に大型店舗が多いため、土日に郊外店で家族連 れで楽しみながらまとめ買いをする現象が多く見ら れ、商店街には客がなかなか集まらない。
		商店街（代表 者）	単価の動き	・来客数、来街者数ともに3か月前より増えているも の、売上にはつながっていない。
		一般小売店〔鮮 魚〕（店員）	単価の動き	・来客数も減少しているが、それ以上に客単価が低下 しており、厳しい状況が続いている。
		百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・催事を行うと客数は一時的に増加するが、それが終 わるとまた減少する傾向にある。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・店頭の日用品の動きは変わらないが、高額商品、特 に外商関係が伸び悩んでいる。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・客は目玉商品以外にはなかなか飛びつかず、よく吟 味し、必要に迫られて買っている様子が見受けられ る。
百貨店（営業担 当）		販売量の動き	・5月の前半は悪天候で売上は前年マイナスであった が、中旬以降は順調に推移している。ただ、単価が安 い夏物衣料の動きが良いため、全体ではあまり変わっ ていない。	
百貨店（売場担 当）		競争相手の様子	・4月末に近くに大型商業施設がオープンしたため、 5月の売上は前年比マイナスとなっており、厳しい状 況は変わらない。	
百貨店（業務担 当）		単価の動き	・購買単価もやや落ち込みを見せ、購買率もいくらか 低下している。	
スーパー（店 長）	販売量の動き	・来客数、単価ともに下げ止まっている。		
スーパー（店 長）	販売量の動き	・販売量は全体的には変わっていない。しかしこれ は、本来なら多少上昇気味であったのが、近隣にでき た競合店に客を奪われたためである。		
スーパー（店 長）	お客様の様子	・来客数は増えているが、客単価が100円以上低下す る状況が続いている。		
コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・客の購買に対する姿勢は厳しく、低価格商品を求め る傾向が続いている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・客が1品1品、単価に注目して選んでいる様子がよく見受けられ、厳しい状況は変わらない。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・単価は下がり気味で、弁当の売行きも落ちている。不景気で弁当を家から持参して仕事へ行く傾向にあるようだ。
		衣料品専門店（商品担当）	単価の動き	・ゴールデンウィーク後の客の買上単価のダウンが一番大きく響いている。来客数も減少しており、厳しさは変わらない。
		乗用車販売店（社長）	来客数の動き	・依然として店頭に来客が極端に少なくなっている。ディーラーや同業者に聞いても皆同じようなことを言っている。厳しい状況は変わらない。
		乗用車販売店（管理部長）	販売量の動き	・今月、新車種を発表すると、客の入りが非常に良くなった。良い商品には客はついてくるようだ。ただ、客の消費意欲はまだ低い。
		乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・客が購入する商品単価が依然として低価格で落ち着いている。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（統括）	単価の動き	・石油元売から値上の通知がきており、潤滑油の小売価格を上げざるを得なくなっているが、需要は変わっていない。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（統括）	販売量の動き	・来客数に変化はないが、ガソリン使用量が減っている。理由として、車の燃費が良くなったことや、定量定額給油が増えたことなどがあげられる。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前とあまり変化はないが、昼の来客数、特に県外からの客が若干増えている。
		スナック（店長）	来客数の動き	・繁華街に来る客が非常に少なくなっており、店は待ちぼうけという状態である。依然として厳しい状況にある。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・売上が前年より多少悪くなっており、単価も全体的に下がってきている。厳しい状況は変わらない。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・客と面談していても、明るい兆しが見える話がまだないということだった。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ブロードバンド系の商品の販売は、3～4月にかけては学生の進入学の動きなどで増大していたが、5月に入って注文数が落ち着いてきている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・宿泊については、5つの施設を総合すると結果的には横ばいである。ただ、ゴルフ、アミューズメント関係は落ち込んでいる。
		ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・商品単価の安い時間帯の来客が増えている。
		設計事務所（社長）	お客様の様子	・このままではいけない、どうにかしなくてはならないと、様々な方策を考える同業者が多く、建設業界は依然として厳しい状況にある。
		設計事務所（職員）	来客数の動き	・客と打合わせする回数が減少しており、厳しい状況が続いている。
		住宅販売会社（常務取締役）	お客様の様子	・既存の集客方法では来客数の増加は図れない。新規物件では広さ、間取り、自由建設等に対する価格競争が、完成物件では値引きや商品サービス等の競争が熾烈化している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・福岡市周辺部の宅地分譲の状況はあまりよくないが、中心部のマンションはよく売れており、全体では変化がない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・土地を買い、家を建てる動きが若干出てきているが、建替えの動きが少ない。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・客単価、来客数ともに衰退している。
		一般小売店【青果】（店長）	お客様の様子	・客に、リストラにあって仕事がない、年齢制限があるためパート先がなかなか見つからないなど、雇用の話をよくされる。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・購買率、購買客数、販売量ともに1%強の伸びになったが、一品単価が2.2%下落したことにより、売上が大きく前年を下回っている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客の買上点数が少なくなっているため、客単価が若干低くなってきている。特に衣料品関係にその傾向が見受けられる。
		乗用車販売店（経理担当）	競争相手の様子	・他社は新型車ラッシュということで、売上が大きく伸びているようだが、当社は今のところ新型車の投入がないため、厳しい状態にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ワールドカップの影響で、旅行は国内外ともに動きが悪い。特に海外は韓国が不調であり、国内は若い客層のターゲットであるUSJやTDRが前年を大きく下回っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・朝から長時間、客待ちをしても、近距離の客が多いため、客単価が低くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・ゴールデンウィークで客は散財しているため、月後半の客足は非常に少なくなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・昼間の客は、病院通いの客などがいくらか増えている傾向にあるが、夜の客は減少に歯止めがかからない状況である。
		通信会社（業務担当）	お客様の様子	・客は、携帯を買替えたい気持ちはあるものの、価格が以前のように下がらないか待っていたり、新商品を待っていたりする。
	悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が非常に落込んできている。中でも食料品、婦人衣料、カジュアル衣料の落ち込みが目立つ。
高級レストラン（経営者）		販売量の動き	・例年、5月と11月は売上のピーク時期であるが、今年はシーズンオフ並の売上しかなかった。特に、会社の招待旅行の減少が目立っている。	
スナック（経営者）		来客数の動き	・5月は営業日数が少なかったことと、雨の日が多かったこともあり、客は先月より3割減であった。1人で来る客が増えており、売上が伸びていない。	
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連業からの受注が依然として堅調である。
	電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・半導体はやや良くなっているが、新規事業の部門、例えばカルチャー部門、福祉事業、保育事業なども確実に伸びてきている。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・法改正によるものであろうが、工事受注が増えている。	
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・IT関連製造業では生産が活発化しており、元の従業員をパートとして再雇用する動きも出てきている。	
	変わらない	農林水産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・狂牛病、表示問題等も落ち着きつつあり、消費に期待したいところであるが、あまり大きな変化はない。逆に、メーカーが値下等を要求してきており、状況は好転していない。
		金属製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量に大きな変化は見られず、少ないパイを奪い合う状況に変わりはない。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の動きにも一服感が出てきており、液晶関連に関しても先行きはまだ不透明である。
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・官庁関係の公共工事入札が動き出したようだが、入札参加業者が多く、競争が激化して受注になかなか結びついていない。
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今月は新規受注物件が小口工事のみで、大型物件が全くない。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体関係の受注は増えてきたが、その他の商品については荷動きがない。全体としては悪い状況が続いている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・焼酎メーカーは好調なところと好調でないところがあり、平均すると変化はないが、焼酎以外の酒造メーカーが極端に悪くなっている。
	やや悪くなっている	繊維工業（部長）	取引先の様子	・繊維業界では、アジア諸国に生産基地を移動させる傾向にあるが、国内の工場はアジアと単価競争が全くできないため、工場が次々と倒産している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が非常に落ち込んでおり、価格競争も激しくなっている。商社の動向も大変厳しくなっているため、今後の受注に対し大きな不安を抱いている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・これまで主力受注品であった商品が、国外生産になった。
不動産業（従業員）		取引先の様子	・取引先には、業績が悪化し、倒産の危険性があるところが多くなっている。	
悪くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・当社は巻き網漁船を専門的に建造・修理する造船所だが、国の減船事業で大幅に巻き網漁船の数が減っているため、非常に苦しい状況に追い込まれている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・物流の入庫も出荷も少量で、商品の回転が非常に悪くなっている。それだけ市場に商品が出回っていないということであり、メーカーの売上がかなり減少していることが予想される。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・半導体関連で派遣需要が多くなっている。ただし、この状況が短期的なものか、長期的なものかは分からない。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・昨年暮れから契約が実績割れの状態が続いていたが、今月はやっと実績に追いついている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・半導体関連工場の請負業の臨時募集がかなり多くなってきた。
		民間職業紹介機関（支店長）	周辺企業の様子	・製造業はまだ下降気味であるが、それ以外の業種については求人数が少し上向いてきている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・前回と同様に人材派遣の注文数が少なく、受注単価も低いまま上がっていない。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	求職者数の動き	・情報誌の中で中途採用の募集広告を扱っているが、若年層向けの仕事であっても、年齢を不問と書いているものに対して、50代の方々の応募がかなり見られる。中高年の雇用マーケットがかなり厳しいことがうかがえる。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は16%程増加してはいるが、新規求職者数が78%も増加している。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・大量解雇が減少しつつあるものの、有効求職者の増加に歯止めがかかっていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・広告協会の企業倒産が続いている。
民間職業紹介機関（職員）		採用者数の動き	・九州地区での求人数が減少している。製造業については、アジア地区など海外営業が多くなっているため、国内マーケットは縮小している。	
悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人が減少し、求職者が大幅に増えたことから、求人倍率が大きく低下している。月間有効求職者数は過去最高になっており、小規模事業所からの解雇者が増加している。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	求職者数の動き	・40～50代の男性の求職者数が増えている。	